

- 問1 鎌倉幕府において、北条氏が執権という立場から幕府の政治の最高権限を握る政治体制が確立された背景として、最も適切なものを次のうちから1つ選びなさい。 (2026年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 源氏の正統な将軍が3代で途絶えた後、北条氏が将軍を補佐する立場として実権を握ったから。 | 2. 後鳥羽上皇が幕府を倒すために挙兵した際、朝廷の役職として執権が新設されたから。 | 3. 室町幕府の管領にならって、将軍の補佐役の権限を強める改革が行われたから。 | 4. 元寇の際に西国の御家人を統括するため、北条氏が九州に派遣されて権限を強めたから。 |
|--|--|---|---|
- 問2 元軍の襲来後、鎌倉幕府が御家人を救済するために「徳政令」を発令しなければならなかった、当時の社会的な背景として最も適切な説明はどれですか。 (2020年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|---|--------------------------------------|--|
| 1. 馬を用いた運送業者である馬借が流通を独占し、幕府の財政が破綻したから | 2. 治安維持法によって御家人の行動が厳しく制限され、商業活動ができなくなったから | 3. 異国船打払令によって外国との貿易が途絶え、幕府の収入が激減したから | 4. 防衛戦であり新たな土地を得られなかったため、武士に与える恩賞が不足したから |
|---------------------------------------|---|--------------------------------------|--|
- 問3 鎌倉時代の将軍と御家人の間には、土地を仲立ちとした主従関係が結ばれていました。御家人が軍役や京都の警護などを担う「奉公」に対し、将軍が御家人の先祖伝来の所領を認めたり、手柄に応じて新たな土地を与えたりしたことを何といいますか。 (2018年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 御恩 | 2. 寄進 | 3. 知行 | 4. 封建 |
|-------|-------|-------|-------|
- 問4 13世紀後半、元（モンゴル帝国）の侵攻という国難に直面した際、北条時宗が就いていた役職は何ですか。当時の資料では、将軍の補佐役でありながら、御家人を指揮して防衛にあたった幕府の最高責任者として記されています。 (2020年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|-------|----------|-------|
| 1. 六波羅探題 | 2. 執権 | 3. 公文所別当 | 4. 将軍 |
|----------|-------|----------|-------|
- 問5 東大寺南大門に安置されている「金剛力士像」について、その制作背景や特徴を説明したものとして最も適切なものはどれか。 (2018年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 武士の気風を背景に、寄木造の技法を用いて、力強く生き生きとした肉体を表現した。 | 2. 大陸から伝わった仏教の初期の姿を伝え、神秘的な微笑をたたえた静かな姿を特徴とした。 | 3. 聖武天皇による仏教の力を借りた国づくりを背景に、唐の文化の影響を強く受けた威厳ある表現をとった。 | 4. 貴族の極楽浄土への願いを反映し、平等院鳳凰堂に見られるような優雅で穏やかな表情を追求した。 |
|--|--|---|--|
- 問6 鎌倉時代初期に書かれた『方丈記』の著者であり、京都の大火や飢饉などの災害体験を通じて、人生や社会のはかなさを鋭く描写した人物は誰ですか。 (2018年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------------|--------|--------|
| 1. 藤原定家 | 2. 吉田兼好（兼好法師） | 3. 世阿弥 | 4. 鴨長明 |
|---------|---------------|--------|--------|
- 問7 鎌倉時代の文学に関する記述として、後鳥羽上皇の命によって編纂された和歌集の名称と、その時代の文化的な背景を説明したものとして正しいものを次の中から選びなさい。 (2017年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 運慶が編纂を命じた『万葉集』であり、素朴で力強い武士の心を詠んでいる。 | 2. 後鳥羽上皇が編纂を命じた『古今和歌集』であり、国風文化の確立を象徴している。 | 3. 井原西鶴が編纂した『浮世草子』であり、町人の日常生活をリアルに描いている。 | 4. 後鳥羽上皇が編纂を命じた『新古今和歌集』であり、公家社会に受け継がれた伝統的な文化の一端を示している。 |
|--|---|--|--|
- 問8 1274年に発生した最初のモンゴル襲来である「文永の役」に至るまでの背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2019年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. チンギス・ハンが東アジア全域の統治を完了させるため、執権の北条時宗に宣戦布告した。 | 2. 日本側が元の使者を捕らえて処刑したため、その報復として元が大規模な船団を派遣した。 | 3. 足利尊氏が幕府を倒すために元の軍隊を日本に招き入れ、それに対して北条氏が防衛戦を行った。 | 4. フビライ・ハンが日本へ従属を求める使者を送ったが、執権の北条時宗がこれに応じなかった。 |
|--|--|---|--|
- 問9 フビライ＝ハンが都を大都に移し、国号を「元」と定めた歴史的な背景や目的を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2018年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. キリスト教を国教として採用し、ヨーロッパ諸国との連携を強化するための拠点とするため。 | 2. 日本の鎌倉幕府と軍事同盟を結び、東南アジアの諸島部を共同で支配する拠点とするため。 | 3. モンゴルの伝統的な遊牧生活を完全に捨て、純粋な中国式の農耕国家へと移行するため。 | 4. 中国の優れた統治制度を取り入れつつ、内陸の交易路と海の道を統合して世界規模の帝国を支配するため。 |
|---|--|---|---|
- 問10 鎌倉時代における武家の家族制度や土地相続の仕組みについて説明した文として、当時の実態を正しく反映しているものはどれですか。 (2022年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 惣領（家督を継ぐ者）が全ての土地を独占的に相続し、女子や次男以下には一切の権利が与えられなかった。 | 2. 女性の地位は古代よりも低下し、土地を相続する代わりに幕府から生活のための手当が支給される制度となった。 | 3. 武家社会の女性は政治や経済から隔離されており、土地の管理運営に関わることは禁じられていた。 | 4. 親の所領を子供たちに分けて譲る分割相続が行われ、女子が「女地頭」として領地を支配することもあった。 |
|--|--|--|--|
- 問11 鎌倉時代には、中国（宋）から新しい仏教の宗派が伝えられました。そのうち、座禅を修行の基本とする禅宗について、開祖とその宗派の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2024年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------|--------------------------|--------------------------|---------------------------------|
| 1. 栄西が曹洞宗を伝え、道元が臨済宗を開いた。 | 2. 栄西が臨済宗を伝え、道元が曹洞宗を開いた。 | 3. 最澄が天台宗を伝え、空海が真言宗を開いた。 | 4. 聖武天皇が国分寺を建立し、仏教による国家の安定を図った。 |
|--------------------------|--------------------------|--------------------------|---------------------------------|
- 問12 鎌倉時代、宋から伝えられた新しい仏教の一つで、特定の経典や念仏よりも、座禅を組み自分自身を見つめ直す修行を通じて悟りを開こうとする宗派を何といいますか。 (2026年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|-------|---------|--------|
| 1. 日蓮宗 | 2. 禅宗 | 3. 浄土真宗 | 4. 浄土宗 |
|--------|-------|---------|--------|
- 問13 13世紀にフビライ・ハンに仕えたマルコ・ポーロは、著書『世界の記述（東方見聞録）』の中で日本を「黄金の国ジパング」として紹介しました。この記述がなされた鎌倉時代よりも前、12世紀の平安時代末期に奥州藤原氏によって建立され、建物全体に金箔が施されていることからマルコ・ポーロの伝聞の根拠の一つになったとも考えられている建築物を選びなさい。 (2022年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|-----------|----------|--------|
| 1. 慈照寺銀閣 | 2. 中尊寺金色堂 | 3. 鹿苑寺金閣 | 4. 安土城 |
|----------|-----------|----------|--------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 源氏の正統な将軍が3代で途絶えた後、北条氏が将軍を補佐する立場として実権を握ったから。	鎌倉幕府では、源頼朝から始まる源氏の将軍が3代で途絶えました。そのため北条氏は公家や皇族から幕府のトップとして将軍を迎え、自らはそれを補佐する執権として幕政の実権を握りました。
問2	答え 4 防衛戦であり新たな土地を得られなかったため、武士に与える恩賞が不足したから	元との戦いは日本国内での防衛戦であったため、勝利しても敵から奪った土地がなく、武士たちに配分する恩賞が極端に不足していました。それにもかかわらず武士たちは自費で武器や食料を調達していたため、多くの御家人が借金を抱えて没落する危機に直面していました。
問3	答え 1 御恩	鎌倉将軍と御家人の結びつきは、互いに利益を与え合う「御恩と奉公」の関係に基づいています。将軍側が行う、御家人の本領安堵（所領の保証）や新恩給与（新たな土地の付与）をまとめて御恩と呼びます。これに対し、御家人が命がけで戦うことや幕府の役職に就くことを奉公といいます。
問4	答え 2 執権	北条時宗は鎌倉幕府の第8代執権として、元寇の指揮を執りました。鎌倉時代後半には、将軍は名目上の存在となり、北条氏が就く執権が政治の実権を完全に掌握していました。六波羅探題は京都の監視や西国の統括を行う出先機関の役職であり、幕府全体の最高役職ではありません。
問5	答え 1 武士の気風を背景に、寄木造の技法を用いて、力強く生き生きとした肉体を表現した。	鎌倉文化は、源平の争乱を経て武士が台頭した時代背景を強く映し出しています。東大寺の再興事業において、運慶や快慶は複数の木材を組み合わせる「寄木造」の技法を駆使し、解剖学的にも正確で力強い肉体美を短期間で作り上げました。これに対し、優雅な表現は平安文化、唐の影響は奈良時代の天平文化、神秘的な微笑（アルカイック・スマイル）は飛鳥文化の特徴です。
問6	答え 4 鴨長明	著者は神職の家に生まれながらも、不遇な境遇から出家して山里に隠棲しました。その経験から、定まった住処を持たず流動的に生きる姿を「ゆく河の流れは絶えずして、しかももとの水にあらず」という有名な冒頭文に象徴させています。
問7	答え 4 後鳥羽上皇が編纂を命じた『新古今和歌集』であり、公家社会に受け継がれた伝統的な文化の一端を示している。	鎌倉時代には武士の文化が台頭する一方で、京都の公家社会でも伝統的な文化が守られていました。後鳥羽上皇の命で編纂された『新古今和歌集』は、その代表例です。選択肢にある『古今和歌集』は平安時代のもので、『万葉集』は奈良時代のもので。また、『浮世草子』は江戸時代の元禄文化に関連するものであり、鎌倉文化とは区別する必要があります。
問8	答え 4 フビライ・ハンが日本へ従属を求める使者を送ったが、執権の北条時宗がこれに応じなかった。	モンゴル帝国の第5代皇帝フビライ・ハンは、国号を「元」と定めたのち、高麗を通じて日本に服属を求める国書を送りました。しかし、日本の実質的な指導者であった執権の北条時宗がこの要求を受け入れなかったため、元と高麗の連合軍による軍事侵攻が始まりました。これが文永の役です。
問9	答え 4 中国の優れた統治制度を取り入れつつ、内陸の交易路と海の道を統合して世界規模の帝国を支配するため。	フビライ＝ハンは、モンゴル人としてのアイデンティティを保ちながらも、中国の制度を巧みに利用して広大な領土を統治しようとしました。都を大都に置いたのは、草原の道やオアシスの道といった内陸の交易ルートと、南シナ海からインド洋に至る「海の道」を結びつける戦略的な意図がありました。これにより、元は東西の物資や文化が活発に行き来する国際的な帝国へと発展しました。
問10	答え 4 親の所領を子供たちに分けて譲る分割相続が行われ、女子が「女地頭」として領地を支配することもあった。	鎌倉時代の武士の間では、複数の子に所領を分けて相続させる「分割相続」が一般的でした。この際、女子にも相続権が認められていたため、地頭として地元の管理を行う「女地頭」が登場しました。時代が下り室町時代から戦国時代にかけて、領地の細分化を防ぐために単独相続へと変化し、女性の地位も徐々に低下していくことになります。
問11	答え 2 栄西が臨済宗を伝え、道元が曹洞宗を開いた。	鎌倉時代に宋から伝わった禅宗には、大きく分けて二つの流れがあります。栄西は臨済宗を伝え、幕府の保護を受けて武士の間に広まりました。一方、道元は曹洞宗を伝え、越前（福井県）に永平寺を建立して、ひたすら座禅に打ち込む修行を重んじました。最澄や空海は平安時代初期の僧であり、国分寺の建立は奈良時代の出来事です。
問12	答え 2 禅宗	栄西や道元によって宋から伝えられた禅宗は、自らの力で修行に励む「自力」の教えを特徴としています。これは、念仏を唱えて阿弥陀如来に救いを求める「他力」の教えである浄土宗などとは対照的ですが、精神修養を重んじる姿勢が当時の武士の気風に合致し、鎌倉幕府の保護を受けて発展しました。
問13	答え 2 中尊寺金色堂	奥州（現在の岩手県）を拠点とした奥州藤原氏が、豊富に産出された金を背景に建立したのが中尊寺金色堂です。マルコ・ポーロが「宮殿の屋根がすべて純金で覆われている」といった誇張を交えて日本を紹介した背景には、こうした東北地方の黄金文化の噂が元に伝わっていたという説があります。選択肢にある金閣は室町時代、安土城は安土桃山時代の建築物のため、マルコ・ポーロの時代には存在しません。